

組合員名簿

(2023年10月現在)

SDGs宣言会社

北海道

- 北海道
- (株)辻商会 旭川市 TEL.0166-47-2771
- (有)まるふく八田商会 上川郡 TEL.0165-34-2457
- (株)アシスト・フクダ 函館市 TEL.0138-48-2000
- (有)プロス 江別市 TEL.0111-380-2633
- (株)ピークル 苫小牧市 TEL.0144-51-8008
- (株)ケーエー車輛 北広島市 TEL.0111-377-5577
- (株)空知オートパーツ 赤平市 TEL.0125-34-4100
- (有)オカダオートパーツ 河西郡 TEL.0155-62-6833
- 釧路オートリサイクル(株) 釧路市 TEL.0154-57-3718
- (株)ポールド 北見市 TEL.0157-66-5775
- (株)ライズコーポレーション 札幌市 TEL.0111-802-2121
- (株)南商会 札幌市 TEL.0111-882-1770

東北

- 青森県
- (有)むつパーツ むつ市 TEL.0175-22-1021
- (株)エコブリッジ 八戸市 TEL.0178-38-6558
- 秋田県
- (有)サン・アール 由利本荘市 TEL.0184-22-5740
- (株)現代 鹿角郡 TEL.0186-29-3990
- 岩手県
- (有)三陸パーツセンター 下閉伊郡 TEL.0193-81-1155
- 山形県
- (株)永田アロダック 酒田市 TEL.0234-43-1272
- 宮城県
- (株)西武オートパーツ 大崎市 TEL.0229-23-3071
- (有)大友自動車工業 名取市 TEL.022-386-2461
- (株)アイエス総合 登米市 TEL.0220-21-5153
- 福島県
- (株)福島リパーツ 郡山市 TEL.024-946-1180
- (有)安澤商店 西白河郡 TEL.0248-27-1736
- (有)富山商会金屋工場 郡山市 TEL.024-944-1280
- (株)オートセンターNAO 大沼郡 TEL.0242-55-1055
- (株)ナプロアース 伊達市 TEL.024-573-8091
- (有)カンジ自動車商会 福島市 TEL.024-555-5131
- (株)デック いわき市 TEL.0246-47-1521
- (有)権並商会 郡山市 TEL.024-944-4100

北関東

- 茨城県
- (株)茨城オートパーツセンター 小美玉市 TEL.0299-48-1398
- (有)田崎商店 結城市 TEL.0296-32-1893
- (有)ポブラ 那珂市 TEL.029-350-6501
- 栃木県
- (株)栃木パーツ 佐野市 TEL.0283-23-3256
- (有)しのぶや みどり工房 那須郡 TEL.0287-74-3077
- 群馬県
- (株)拓殖商会 伊勢崎市 TEL.0270-76-3683
- カーステール(株) 前橋市 TEL.027-251-6365
- カーステール(株) 東毛営業所 太田市 TEL.0276-56-6411
- 新潟県
- (株)共伸商会 新潟市 TEL.025-255-4111
- (有)黒塚部品 新潟市 TEL.025-377-2410
- リ・パーツ(株)坂井自動車 新潟市 TEL.0250-61-0501
- 埼玉県
- (株)3R 久喜市 TEL.0480-26-3559
- (株)C.R.S埼玉 川越市 TEL.049-228-5111
- リバー(株) ELV川島 比企郡 TEL.049-299-2733

南関東

- 東京都
- (有)オートパーツ同 西多摩郡 TEL.042-556-2735
- 三協自動車(株) 調布市 TEL.03-3300-0685
- 千葉県
- (有)オートパーツ千葉 西葛市 TEL.0479-73-0830
- (株)トキオ 佐倉市 TEL.043-498-2461

- (有)オートサービス東関 千葉市 TEL.043-257-9449
- (有)リサイクルガレージケーワン 船橋市 TEL.047-457-5758
- (有)ベストパーツ 市原市 TEL.0436-24-4182
- リバー(株) ELV柏 柏市 TEL.04-7190-0980
- 神奈川県
- (株)大橋商店 横浜市 TEL.045-761-6551
- (株)ユピック 横浜市 TEL.045-642-5423
- 日産プリンス神奈川販売(株) サービス部リサイクル事業室 大和市 TEL.046-200-2301
- (有)トライアル 横浜市 TEL.045-595-3035
- (株)杉之間 小田原市 TEL.0465-46-1082
- (株)コエイ リサイクルパーツ・厚木店 厚木市 TEL.046-220-1441
- 山梨県
- (株)テラダパーツ甲府営業所 中巨摩郡 TEL.055-287-7761
- 静岡県
- (株)ヤタパーツ 沼津市 TEL.055-921-9678
- (株)マルトシ青木 藤枝市 TEL.054-644-5656
- 太田部品(株) 御殿場市 TEL.0550-89-5110
- (株)コエイ 浜松市 TEL.053-462-1128
- オレンジパーツ平成 静岡市 TEL.054-253-5646
- (株)アンドーカーパーツ 下田市 TEL.0558-28-0939

北陸

- 富山県
- (株)ハセ川自動車 滑川市 TEL.076-477-7111
- (有)山一商店 小矢部市 TEL.0766-67-2721
- (有)堀川自動車商会 氷見市 TEL.0766-74-3022
- 石川県
- (有)ツクダ自動車 白山市 TEL.076-276-1593
- (株)金沢ヨコイ部品 金沢市 TEL.076-239-4510
- (株)リベア 七尾市 TEL.0767-57-2114
- (有)メタルオート北陸 小松市 TEL.0761-21-0168
- 福井県
- (有)サンシャインネットパーツ 福井市 TEL.0776-57-1236
- (株)ナカスジオートパーツ R-FACTORY 坂井市 TEL.0776-51-3253 越前市 TEL.0778-43-5844

東海

- 長野県
- (有)小諸パーツセンター 小諸市 TEL.0267-23-7588
- (株)アートパーツ長野 松本市 TEL.0263-40-2100
- (株)ハセ川自動車長野営業所 中野市 TEL.0269-24-7124
- (株)ハセ川自動車松本営業所 松本市 TEL.0263-50-5095
- (株)テラダパーツイダ 下伊那郡 TEL.0265-49-8522
- (株)テラダパーツ諏訪営業所 諏訪郡 TEL.0266-78-3538
- 岐阜県
- KMI(株) 養老郡 TEL.0584-36-0022
- エコパーツ岐阜(株) 可児市 TEL.0574-62-2328
- (有)山一商店高山営業所 高山市 TEL.0577-35-5963
- 愛知県
- (有)名古屋解体メカイパーツ 名古屋市 TEL.052-736-4741
- (株)カーブリーコマゼン 弥富市 TEL.0567-68-4182
- (株)テラダパーツ 刈谷市 TEL.0566-22-3709
- (有)佐竹自動車部品 豊田市 TEL.0565-52-0015
- アーク(株) 北名古屋市 TEL.0568-48-7577
- (有)サイトウパーツ 豊川市 TEL.0533-86-2408
- (有)川原商会 一宮市 TEL.0586-62-1757
- (有)ジーパーツ 知多郡 TEL.0569-74-1007
- (株)ワーブ 岡崎市 TEL.0564-27-7022
- (株)テラダパーツ半田営業所 半田市 TEL.0569-25-0045
- 三重県
- (有)オートパーツまるも 四日市市 TEL.059-329-3987
- (有)富士クラッチ工業所 四日市市 TEL.059-325-6623
- (株)マークコーポレーション 鈴鹿市 TEL.059-371-6330

関西

- 滋賀県
- (株)カンザキ 東近江市 TEL.0748-22-1389

- 京都府
- (株)エコパーツ京都 八幡市 TEL.075-983-9991
- (株)ラ・テール 京都市 TEL.075-681-3431
- (株)金子商会 舞鶴市 TEL.0773-82-0130
- 大阪府
- 吉村エコパーツ 羽曳野市 TEL.072-958-3454
- (株)多田自動車商会大阪営業所 大阪市 TEL.06-6682-8861
- (株)桜井 大阪支店 大阪市 TEL.06-6551-7777
- 兵庫県
- (株)多田自動車商会 三木市 TEL.0794-83-0162
- (株)堀尾自動車部品 姫路市 TEL.079-298-4650
- (株)桜井 尼崎市 TEL.06-6414-2222
- 和歌山県
- (株)草山パーツ 和歌山市 TEL.073-477-0532
- (株)紀南パーツ 日高郡 TEL.0739-84-2222

中四国

- 岡山県
- フレストパーツ(株)中村解体 倉敷市 TEL.086-446-2041
- (株)桃太郎部品 岡山市 TEL.086-244-1100
- 岡崎車輛部品(株) 瀬戸内市 TEL.0869-66-8511
- ウエイクパーツ(有)和気商店 岡山市 TEL.086-243-6059
- 広島県
- (株)福山セコ 福山市 TEL.084-953-3201
- エコテクノ(株) 広島市 TEL.082-832-0345
- (株)エビス 安芸郡 TEL.082-884-1111
- エコテクノ(株) 広島北支店 山県郡 TEL.0826-72-0333
- 山口県
- (株)オートパーツ幸城 宇部市 TEL.0836-44-2412
- 鳥取県
- (有)東和 東伯郡 TEL.0858-52-2998
- (有)西川商会 鳥取市 TEL.0857-28-9011
- 島根県
- (有)山陰UP販売 安来市 TEL.0854-23-2466
- (株)山陰エコ・リサイクル 松江市 TEL.0852-72-9301
- 島根オートリサイクルセンター 出雲市 TEL.0853-25-9000
- 香川県
- (株)佐伯商会 高松市 TEL.087-840-3133
- 愛媛県
- (有)オートパーツ新居浜 新居浜市 TEL.0897-67-1577
- (株)予洲商事 今治市 TEL.0898-32-0384
- 徳島県
- 徳島オートパーツ(有) 板野郡 TEL.088-672-7773
- (有)青木興業 小松島市 TEL.0885-32-1875
- 高知県
- (有)みうら 高知市 TEL.088-833-2072
- (有)國興商店 四万十市 TEL.0880-35-6181

九州

- 福岡県
- (株)グッパ福岡 朝倉郡 TEL.0946-23-8093
- (有)イノクチ 筑後市 TEL.0942-53-7617
- (株)エイ・ティ・エム 京都郡 TEL.093-435-2082
- 大成自動車(有) 粕屋郡 TEL.092-623-7000
- WARC西日本オートリサイクル(株) 北九州市 TEL.093-752-3270
- (有)オートリサイクルナカシマ福岡 筑紫野市 TEL.092-926-6008
- 長崎県
- (株)パーツライン 佐世保市 TEL.0956-33-1532
- (株)アール・トーヨー 長崎市 TEL.095-884-2781
- 大分県
- (株)オートリサイクルナカシマ 日田市 TEL.0973-23-0327
- オートパルス ニホウ 宇佐市 TEL.0978-34-0034
- 熊本県
- (株)パーツランド東部 合志市 TEL.096-248-2333
- (株)オートパーツ伊地知熊本営業所 熊本市 TEL.096-364-0238
- (有)まこと商会 八代市 TEL.0965-37-1371
- 宮崎県
- (有)ユービー宮崎 北諸県郡 TEL.0986-52-7054
- 鹿児島県
- (株)オートパーツ伊地知 鹿児島市 TEL.099-267-0468
- (有)鹿児島パーツ 南九州市 TEL.0993-56-1066
- (有)タバタ商会 鹿屋市 TEL.0994-43-2068

NGP 自動車リサイクルに貢献する全国ネットワーク

NGP SUSTAINABILITY REPORT 2023



令和3年度 気候変動アクション 環境大臣表彰



NGP UPCYCLE PROJECT

このレポートは、使用済み自動車の中から回収した取扱説明書をリサイクルした紙を使用しています。 NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合では通常廃棄されるようなものから価値あるものへ生まれ変わらせるアップサイクルに取り組んでいます。

詳しくは NGP ホームページ <https://www.ngp.gr.jp/upcycle/>



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合 株式会社NGP

〒108-0075 東京都港区港南2-12-32 サウスポート品川4F
TEL : 03-6705-1208 FAX : 03-6705-1209
<https://www.ngp.gr.jp>





Index

トップメッセージ	3
SDGs 宣言と2030年の目標	4
目標に対しての2023年度活動報告(2022年9月～2023年8月)	6
2023年度の活動報告	12
沿革	26
組合概要	27

トップメッセージ

昨年エジプトで開催された COP27 では、激しさを増す気候変動への対応として、パリ協定の 1.5℃目標(2030年までの気温上昇に関する長期目標)の重要性の再確認及び国別目標(NDC)の強化、途上国等に気候変動の悪影響に伴う損失と損害を補償する基金の設置等を盛り込んだ全体決定が採択されました。

また、気候変動だけでなく、増大するプラスチックごみや資源の枯渇など、深刻化する課題への対応としてサーキュラーエコノミー(循環型経済)が注目されています。

2023年3月に経済産業省が公表した「成長志向型の資源自律経済戦略」では、資源需要の拡大や特定国のレアメタル供給集中、廃棄物処理の課題、そしてCO₂の排出の削減といった現代の問題を背景に、サーキュラーエコノミーへの転換を積極的に進める方針を示しており、この戦略の中で、生産・販売を担当する「動脈産業」とリサイクル・廃棄物の最終処分を行う「静脈産業」の連携を強化し、サーキュラーエコノミーの実現とカーボンニュートラルを一体的に推進させることが提唱されています。

サーキュラーエコノミーの実現のためには、廃棄物を生み出さず、製品と原材料を高い価値を保ったまま循環させることがあらゆる企業に求められ、これまで廃棄物として見過ごしてきたものを見直し、循環させていく必要があります。

これまで、自動車業界は製品のライフサイクル内での各工程、すなわち開発・製造・販売・使用・再利用、そしてリサイクル・最終処分を担う各事業者間の連携は最小限に留まっていた。これからは、これらの課題に対し自動車業界全体で取組んでいくことが必要不可欠であると考えております。

豊かで美しい地球を子どもたちに残すために、これまでの取組みをさらに深化させるとともに、NGP 組合員やステークホルダーの皆さまを巻き込みながら活動の幅を広げ、自動車リサイクルを通じて、地球の未来に対して果たすべき社会的な責任を全うすることが私たちの使命であると考えております。

持続可能な社会のため、今後もリユース部品の利用拡大に取組んで CO₂の排出削減に大きく貢献するとともに、廃棄物の発生抑制や素材の再資源化の推進、環境保全の大切さを子どもたちに伝える活動に取組み、引き続きカーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーの実現に貢献してまいります。

2023年9月

NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合
理事長 小林信夫



人と車と地球にやさしく
自動車リサイクル事業を通して、
子どもたちと地球の未来を考えます。

2030年NGPの目標

使用済み自動車約1,000万台から2,000万点以上の自動車リユース部品の生産と適正なリサイクル処理を実施し、50万トン以上のCO₂削減に貢献します。

香川県豊島の産業廃棄物（自動車破砕くず等）不法投棄により失われた自然を取り戻す環境再生活動を行い、環境保全と3Rの大切さを後世に伝える活動を行います。

私たちは自動車リサイクル事業でSDGsの達成に貢献しています。



NGP SDGs MODEL

使用済み自動車から始まる「持続可能な社会の実現」



背景

豊島
TESHIMA



香川県瀬戸内海にある「豊かな自然に恵まれた島」

1990年、瀬戸内海にある香川県の豊島(てしま)で、国内最大級といわれる産業廃棄物の不法投棄事件が発覚。不法投棄は1970年代後半から15年以上にわたり、「豊かな自然に恵まれた島」は「ゴミの島」と呼ばれるようになりました。不法投棄された廃棄物の多くが使用済み自動車の破砕くず(シュレッダーダスト)ということもあり、NGPにとって切り離せないものでした。

<発覚後の流れ>

- 2003年 廃棄物の撤去開始
- 2017年3月 撤去完了、廃棄物の量は91万トン以上、処理費総額は700億円以上
- 2018年1月 取り残しの廃棄物610トン発見
- 2019年7月 再調査と撤去完了
- 2021年度 地下水の水質が「排水基準※1」に到達
- 2022年3月 地下水が瀬戸内海に流れ出すのを防ぐための遮水壁の撤去完了

現在、自然の浄化力による「環境基準※2」への到達を目指しています。2023年3月31日「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法」の期限が到来し、香川県の産廃処理事業が終了。しかし、地下水の「環境基準※2」の到達にはさらに10年以上かかると推計されています。

「環境破壊の再生には長い年月がかかり、その代償は後世が払うということ」

豊島問題は経済成長のもと、大量生産、大量消費、大量廃棄という効率を求められる社会の中、都会で発生した大量のゴミが小さな島に押しつけられるという社会問題でした。私たちの地球は資源の枯渇、増加する廃棄物、温暖化問題など深刻な状況にあります。更なるリサイクル化を徹底し、限りある資源の有効利用を進め、ごみの排出量を抑制することで環境負荷を低減し、持続可能な社会の実現を目指す必要があります。



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合では、使用済み自動車の適正処理を高度化し、その使用済み自動車から有効に活用する「リサイクル部品」を社会に提供して、求められる持続可能な社会の実現を果たすとともに、人々の豊かな暮らしと、子どもたちの未来のために、「人」と「車」と「地球」にやさしい組織活動を推進してまいります。

※1「排水基準」：工場排水を川や海に流してもよいとされる基準
※2「環境基準」：人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持することが望ましいとされる基準

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含む115品目）を対象に算出した数値です。NGPの産学共同研究の成果については専用ホームページ「NGPエコプロジェクト」で公開しています。



GOAL

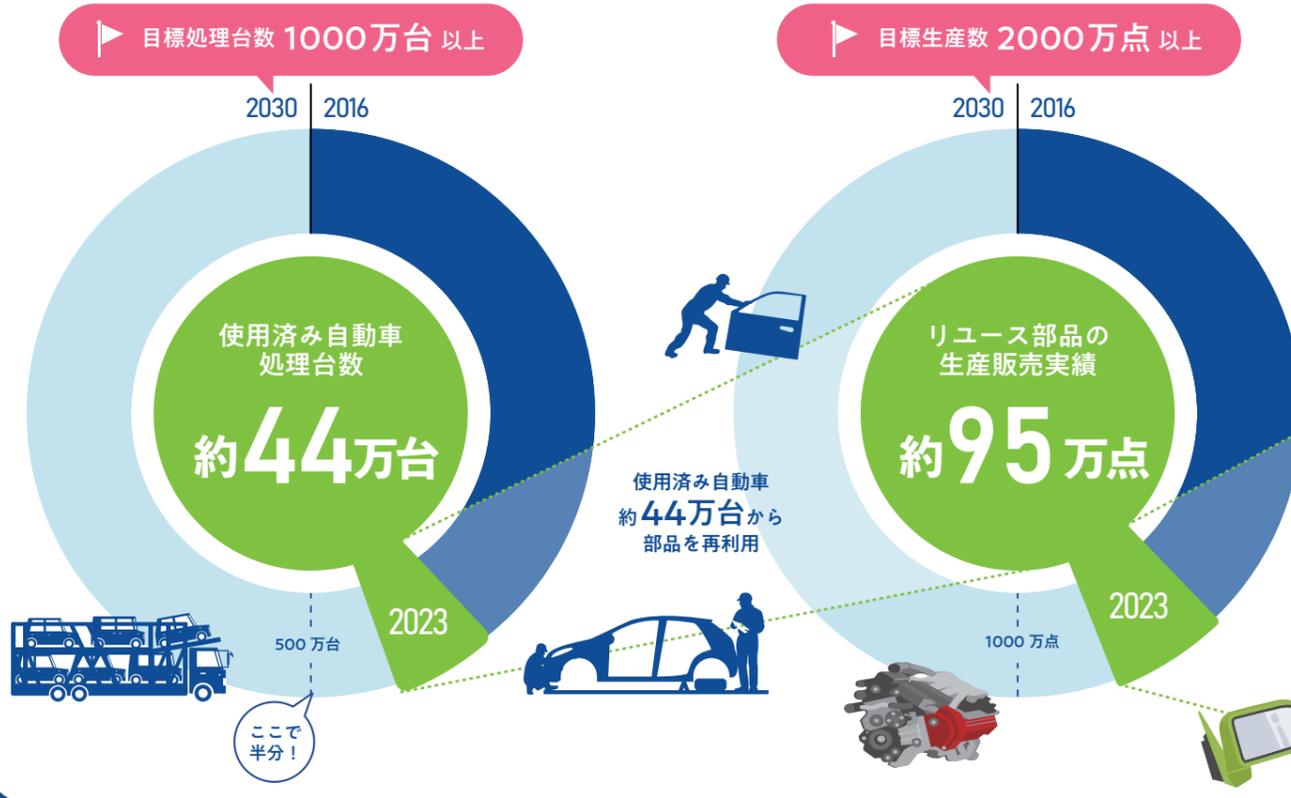
2030年までの目標

使用済み自動車約1000万台から2000万台以上の自動車リユース部品と適正なリサイクル処理を実施し、50万トン以上のCO₂削減に貢献します。

4 質の高い教育をみんなに

12 つくる責任 つかう責任

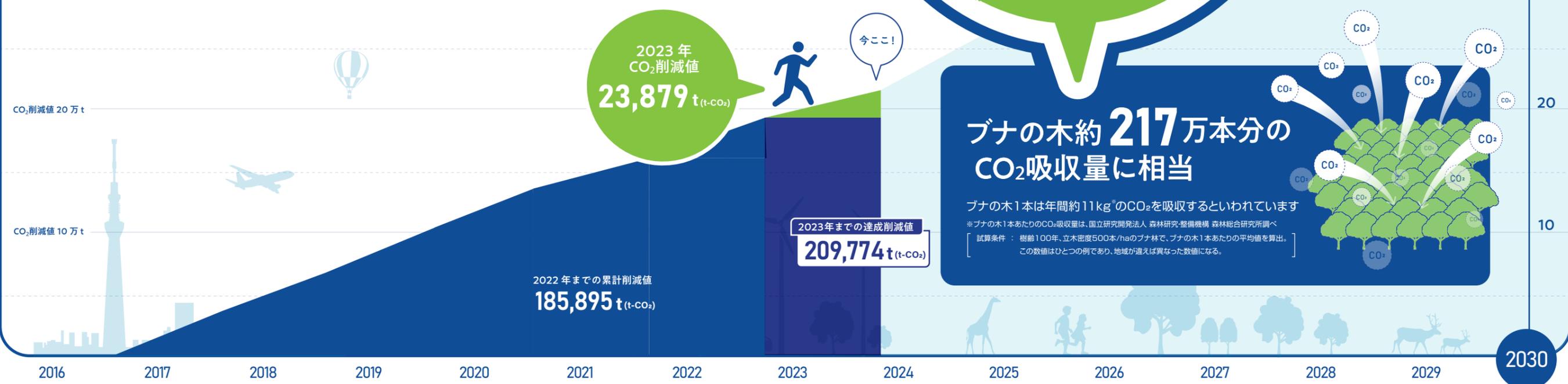
13 気候変動に具体的な対策を



2023年
CO₂削減値
23,879 t (t-CO₂)

▶ 目標CO₂削減値
50万t以上

GOAL



ブナの木約**217**万本分の
CO₂吸収量に相当

ブナの木1本は年間約11kg^{*}のCO₂を吸収するといわれています

*ブナの木1本あたりのCO₂吸収量は、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所調べ
[試算条件：樹齢100年、立木密度500本/haのブナ林で、ブナの木1本あたりの平均値を算出。この数値はひとつの例であり、地域が違えば異なった数値になる。]

GOAL

2030 年までの目標

香川県豊島の産業廃棄物（自動車破砕くず等）不法投棄により失われた自然を取り戻す環境再生活動を行い、環境保全と 3R の大切さを後世に伝える活動を行います。



NGP の目指すゴール

- ▶ 国立公園にふさわしい姿へ原状回復
- ▶ 豊島事件のようなことが二度と繰り返されないよう、環境教育の場として活用
- ▶ 適切な方法で管理し、持続可能な形で次世代に引き継ぐ

2030 年までに不法投棄現場すべてが、国立公園にふさわしい姿にもどることを目指して活動していきます。



豊島再生プロジェクトに関する活動の詳細はこちら

<https://www.ngp.gr.jp/sdgs/teshima/>



NGP 海岸漂着ゴミ回収

プラスチックによる海洋汚染

- ① 水ヶ浦 (みずがうら)
- ② 横引ヶ浜 (よこびきがはま)
- ③ 水無浦 (みずのうら)

国立公園原状回復活動

- ① 水無浦 砂浜復元活動
- ② NGP オリーブの木 植樹活動
- ③ 岡山大学連携による植生回復活動
- ④ 岡山大学・豊島小中学校とのツツジ植樹活動
- ⑤ 荒地整備

環境教育の場
～豊島のこころ資料館～
外壁補修

瀬戸内オリーブ基金への寄付活動

基金への寄付・募金活動と香川県豊島の環境保全・再生活動を行っています。

廃車 1 台ごとに、また、リサイクル部品を使用することで得られる CO₂ 削減量に応じて寄付金を「瀬戸内オリーブ基金」へ寄付しています。



2022 年 10 月 5 日 寄付金目録贈呈

NGP 小林信夫理事長の代理として、当初から豊島での環境保全・再生活動に関わってきた各委員会の委員長から瀬戸内オリーブ基金の岩城裕理事長に寄付金目録を贈呈しました。



(写真中央) 瀬戸内オリーブ基金 岩城裕理事長 (写真右) NGP 総務広報委員会 渡辺辰美委員長 (写真左) NGP SDGs 委員会 伊地知志郎委員長

産廃特措法の期限到来 ～豊島にとっての大きな節目～

2023年3月31日に「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法」の期限を迎えました。この期限到来に伴い、香川県が2000年から進めてきた豊島の産廃処理事業が2023年3月10日の不法投棄現場の整地作業をもって終了し、豊島は大きな節目を迎えました。県と住民が交わした公害調停の最終合意では、県が廃棄物を撤去し、不法投棄現場を元の状態に戻して返還することが定められていますが、汚染された地下水の水質は、浄化作業により2021年度によりやく「排出基準」に到達したものの、地下水の「環境基準」

への到達にはさらに10年以上かかると推計されており、返還の具体的な目途はたっていない。NGPの豊島環境保全・再生活動は、2019年8月に第1回目の活動を行ってから4年目、これまで行った活動の回数は13回を数えましたが、豊島事件は本当の意味ではまだ終わっていません。豊島を元の豊かな島に戻すという強い決意を込めて、NGPは今後も本当の意味で豊島が再生するまで、活動を続けていきます。



不法投棄された産業廃棄物が残っている状態 (1991 年)



産業廃棄物は撤去されたが、水質汚染が著しい (2017 年)



現在

不法投棄現場見学

初参加者は、豊島での活動の意義を知ることを中心に「産業廃棄物不法投棄現場」や「豊島のこころ資料館」の見学を行っています。実際に現場で生の情報に触れることで、豊島事件の重大さ・深刻さはもちろんのこと、自動車のリサイクル・適正処理の大切さや環境の再生には長い年月がかかることを肌で感じています。

2022 年 10 月 5 日

5 名が初参加。廃棄物対策豊島住民会議の安岐事務局長より当時の住民たちの壮絶な闘争の歴史、熱い思いを聞き、参加者たちは真剣に聞き入っていました。



2022 年 10 月 25 日

3 年ぶりに組合員が実際に集まって開催された総会の翌日に、組合員有志 19 名が豊島へ。参加者からは「実際に現場に来て、初めて分かることがたくさんある」「継続して活動を続けていく必要がある」「自社に帰ってから社員に今回のことを話したい」「豊島の環境再生活動に今後積極的に参加したい」など豊島や NGP の活動に対して積極的な感想が数多く聞かれました。



2023 年 4 月 27 日

過去 2 番目に多い 11 名が初参加。廃棄物対策豊島住民会議の石井さんに「豊島事件」の歴史と不法投棄現場の現状を説明していただきました。



国立公園原状回復活動（岡山大学との植生回復活動）

●岡山大学の植生回復活動について

産業廃棄物不法投棄の影響で荒れた土地に外来植物が繁殖し、変わってしまった豊島の植生を回復するため、2015年1月に豊島住民会議と瀬戸内オリーブ基金が、荒地緑化や環境緑化を専門とする同大学の嶋教授に相談をしたことがきっかけで、2015年4月から植生回復の研究を開始しました。自然の回復力で植生が戻るのが理想ではありますが、豊島に多く自生していたツツジ科の「コバノミツバツツジ」などは人が補助しないと育ちにくいことから、岡山大学や豊島の小中学校で苗木を育ててから植樹しています。不法投棄現場は、見た目は緑が回復しているように見えても、本来そこに自生していた多様性の豊かさは回復していません。

NGPは不法投棄現場跡地を元の美しい豊かな状態に戻すために、2022年から岡山大学と連携し、植生回復活動を行っています。



2022年9月13日・14日

豊島の産業廃棄物不法投棄現場のすぐ近くには、産廃事件の首謀者が事件が起きる前の1960年後半に珪砂(ガラス原料)を目的とした大量の土砂の採取をした場所があり、不法投棄現場同様に岩盤がむき出しの荒れ果てた土地になっていました。

この場所の環境再生を行うため、岡山大学が研究を行っている区画で、嶋教授指導のもと雑草や枯れ松の除去作業と、老朽化していたイノシシ避けのネットを撤去し新たにワイヤーメッシュを設置する作業を行いました。

また、2022年5月に作業した不法投棄現場見学道の階段脇の植栽地ならびに2022年2月に豊島小・中学校、岡山大学、瀬戸内オリーブ基金と合同で植樹した、コバノミツバツツジの植栽地でも雑草の除去を行いました。



2023年1月31日・2月1日

前回に続き、岡山大学が豊島の植生回復研究をしている区画において、イノシシ対策を行いました。老朽化したネットを撤去して新たに金属製のワイヤーメッシュの柵を設置するとともに、研究対象となる環境再生のために植栽した植物の成長を阻害する枯れ松や、雑草の除去作業も行いました。

また、2月末に予定されている豊島小中学校によるツツジの植樹式の事前準備として、土を運び入れる作業を行いました。



2023年4月27日・28日

岡山大学が豊島の植生回復研究をしている区画において、豊島に元々自生している「ナルデ」や「アカメガシワ」など実生の木を確認しながら、すべて手作業にて雑草の除去作業を行いました。

また、2月末に豊島小中学校によるツツジの植樹式が行われた場所において、ツツジの成長を阻害する雑草の除去を行いました。



国立公園原状回復活動（荒廃地の整備）

森の生態系や美しい砂浜を回復し、不法投棄がされる前の、豊かな自然に恵まれた国立公園としてふさわしい姿を取り戻すために活動しています。

2023年4月27日・28日

荒廃地の整備後の土地の有効利用として「柚の浜」にオリーブの木を植樹しましたが、西側に隣接する場所は依然として荒廃地となっていたため、枯れ松や木の根、雑草の除去を行いました。



海岸漂着ゴミ回収活動現場

瀬戸内海の家ゴミ問題は深刻であり、豊島も同様に海ゴミの漂着先になっていることから、きれいな島を守るためにブイなどの漁業ゴミやペットボトル、プラスチック類などの海岸漂着ゴミの回収活動を行っています。

2023年4月27日・28日

「柚の浜」にて回収活動を行いました。豊島を含む瀬戸内海の生態系を守るため、入念に回収活動を行いました。



「柚の浜」オリーブ植樹

平和の象徴であるとともに、豊島事件の公害調停成立の際の記念樹でもあるオリーブの木を植樹。オリーブの木は香川県の県木で平和の象徴です。次の世代へ美しい豊島、地球を残したいとの想いが込められています。オリーブオイルの収益を通じ、豊島の持続可能な地域経済に貢献していきます。

2022年9月13日・14日

2022年3月にこれまで整備作業に取り組んできた「柚の浜」荒廃地の整備した土地を有効活用し植樹したオリーブの木に、初めて実が生りました。



2023年4月27日・28日

2022年3月に植樹したオリーブの木の成長を阻害する雑草の除去を行いました。



オリーブの収穫

瀬戸内オリーブ基金では現在1haのオリーブ園を預かり、収穫した実からオリーブオイルを製造販売しています。販売による収益は、瀬戸内オリーブ基金の活動資金になるとともに、豊島の持続可能な地域経済にもつながることから、NGPも収穫のお手伝いをしています。



2022年10月5・6日

昨年と同じ場所（豊島のこころ資料館の横）を含む実の付きが良い複数の場所で2日間収穫を行いました。今年で4年目となる収穫は、過去最大の収穫量「108.65kg」を達成することができました。



2022

2022.09.01 - 2023.08.31

Activity report



2022.9～11 「NGP 年末大感謝キャンペーン」実施



2022.9・10/2023.2・4 豊島環境保全・再生活動実施



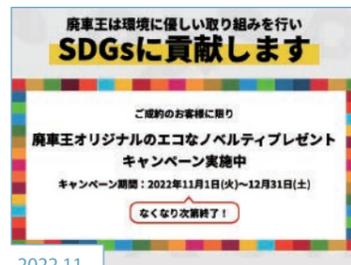
2022.9 カーボンニュートラル・SDGsの取組み支援サービスを開始



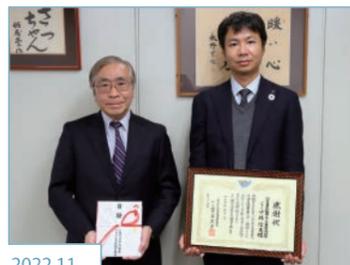
2022.10 「廃車王炭エコクック」を製作



2022.10 第18回通常総会を岡山にて開催



2022.11 「廃車王」ご成約キャンペーン実施



2022.11 交通遺児育英会に寄付



2022.11 「2022年度持続可能な社会づくり活動表彰」にて「資源循環活動賞」を受賞



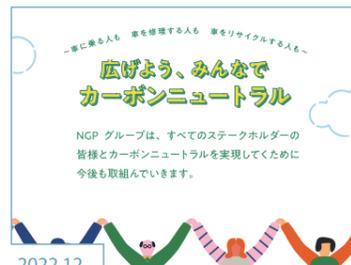
2022.12 バーチャル工場見学会を実施



2022.12 「エコプロ2022」に出展



2022.12 「第5回エコプロアワード」にて「経済産業大臣賞」を受賞



2022.12 カーボンニュートラル・SDGs 取組み支援サービスの専用ページを開設

2023



2023.1/2023.6 1月 廃車王テレビCM実施
6月 廃車王 環境を意識した30秒テレビCM実施



2023.1 「第2回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」にて「グッドパートナー事業」に選定



2023.2 「脱炭素チャレンジカップ2023」にて「奨励賞」を受賞



2023.3 NGP パーツ王、「ヤフオク!ベストアワード2022」で「急上昇ストア賞」を受賞



2023.4～6 「NGP 春の大感謝キャンペーン」実施



2023.5 「廃車王」、業界 No.1 のサービス提供のため研修会実施



2023.5 「J4CE (循環経済パートナーシップ)」に登録



2023.5 環境省「プラスチック・スマート」の取組み事例に登録



2023.6 中学生のSDGs企業訪問を受入れ



2023.7 NGPグループ本部事務所を東京都港区港南に移転



2023.5～8 組合員向け研修会の開催

- 5月 第13回自動車技術基礎研修会
- 6月 第22回ハイブリッド・次世代技術セミナー
- 7月 第17回初級生産管理者・フロントマン研修会
- 7月 第2回スキャンツールセミナー
- 8月 第34回経営者研修会

NGP SUSTAINABILITY REPORT 2023

サーキュラーエコノミーの実現に向けての取組み

NGP はサーキュラーエコノミーの実現に貢献します

※循環経済(サーキュラーエコノミー)とは、従来の3Rの取組みに加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動であり、資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑制等を目指すもの



NGPの取組み 01 資源循環

使用済み自動車を廃棄物として排出するのではなく、いかにリユース(再利用)するか、再利用できないものもいかに資源としてリサイクルし、原材料としてサプライチェーンの上流に戻していくかに重点を置き、まずは部品のリユースに積極的に取り組んでいます。再利用できないものは素材ごとに徹底的に分別し、資源としてリサイクルしています。

NGPの取組み 02 廃棄物(ASR)の抑制

単なる資源循環にとどまらず、廃棄物の抑制に取り組んでいます。取組みの一つとして、これまで産業廃棄物として処理されていた取扱説明書をアップサイクルし、「環境教育ノート」を製作しノートを活用して教育支援活動などを行い、次の時代を担う子どもたちに新しい価値の創造に取り組む大切さを伝えていきます。

各種企業のカーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーを視点とした

自動車リサイクル工場見学会

積水化学工業株式会社様 (愛知県名古屋市)

2022年12月19日 於:(株) テラダパーツ半田営業所(愛知県半田市)

見学理由

自動車の内装材に使用する樹脂製車輪関連材料を製造しているが、今後のカーボンニュートラル・SDGs達成を目的に、資源循環設計を考えるうえで自社製品が現状どのようにリサイクルされているかを参考にしたい

工場見学会では、自動車リユース部品の取り外しから生産工程、フロンガス・エアバッグの適正処理、重機を使つての車両解体・配線の回収、最後のプレス機によってサイコロ状の鉄の塊になるところまで自動車リサイクルの流れを見学いたしました。また、解体車両の内装を取外し、自社で開発した製品がどこでどのように使用されているかを確認し、今後の製品開発の参考にし、その後自動車リサイクルについての意見交換を行いました。



矢崎部品株式会社様 (静岡県裾野市)

2023年4月4日 於:(株) マルツ青木(静岡県藤枝市)

見学理由

ワイヤーハーネスの製造会社であり、カーボンニュートラルのみならず、サーキュラーエコノミーの実現に向けて課題と解決策を考えるため、ワイヤーハーネスが現状どのようにリサイクルされているかを参考にしたい

工場見学会では、主に自動車リサイクル工程を見学し、特に、ワイヤーハーネスを銅ナゲット製造機でナゲット加工する工程は重点的に見学しました。同社で開発した製品がどのようにリサイクルされているかを確認した上で、今後の製品開発の参考にするため、ワイヤーハーネスのリサイクルについての意見交換を行いました。



森六テクノロジー株式会社様 (栃木県真岡市)

2023年6月7日 於:(株) 共伸商会(新潟県新潟市)

見学理由

自動車メーカー向けに納入するプラスチック部品の成形や塗装を行っている会社で、自動車関連企業としてプラスチック部品の回収、自動車のリサイクル工程がどのように行われているのか、自社製品が組み込まれた車がどのように解体処理されるのかを把握し、今後のLCAの取組み活動へ活かしたい

工場見学会では、主に自動車リサイクル工程を見学し、特に、自動車用プラスチックは現状では多くがシュレッダーダスト(自動車破砕くず)となっていることから、金属とシュレッダーダストを分別している工程を重点的に見学しました。工場見学会後は、今後の製品開発の参考にするため、プラスチックリサイクルについての意見交換を行いました。



「J4CE (循環経済パートナーシップ)」に登録されました

昨今のサーキュラーエコノミー、カーボンニュートラルにおいて、自動車リサイクル事業者という立場でのNGPは、重要な役割を担っています。今後、様々な企業との連携が考えられる中で、自動車リサイクルといえば「NGP」というポジションを確立したいとの考えからJ4CEへの参加申込に至りました。



「循環経済パートナーシップ」とは、循環経済への流れが世界的に加速化する中で、循環型経済の後押しと官民連携の強化を目的に、環境省・経済産業省・経団連が創設した枠組み

NGPの活動が環境省の「プラスチック・スマート」の取組み事例に登録されました

NGPが廃棄物抑制の取組みの一環として行っている自動車の廃棄物を活用した環境教育活動、ならびに香川県豊島の環境保全・再生活動の一環として行っている海岸漂着ゴミ回収活動が、環境省の「プラスチック・スマート」キャンペーンサイトにおいて、取組み事例として登録されました。



「プラスチック・スマート」とは、世界的な海洋プラスチック問題の解決に向けて、人・自治体・NGO・企業・研究機関など幅広い主体が連携協働して取組みを進めることを後押しするために環境省が実施しているキャンペーン

NGP アップサイクルプロジェクト ～廃棄物から価値あるものへ～

廃車から排出される廃棄物を削減するために、これらを回収・有効活用し、価値あるものに生まれ変わらせる取組みを行っています。



NGP UPCYCLE PROJECT 第三弾

アウトドアストアとのコラボにより、エアバッグ・シートベルトを回収しアップサイクルした薪バッグを製作

エアバッグとシートベルトは非常に強い生地なので、アウトドア用品に使用できるのではないかと考え、全国のアウトドア系のブランドやショップに対し、コラボレーションによるアップサイクルの取組みを打診したところ、アウトドアライフストア「WILD-1(ワイルドワン)」を運営する株式会社カンセキ様よりご賛同をいただくことができました。

多くのキャンパーからの支持を集める会社より、昨今のキャンプに欠かせない焚火に使用する薪を運ぶためのバッグを製作してはどうかとの提案がありました。それを受けて同社とのコラボレーションにより、エアバッグとシートベルトをアップサイクルした薪バッグを製作しました。



NGP UPCYCLE PROJECT 第一弾

廃棄物となっていた取扱説明書を資源として有効活用し、環境教育ノートを製作

NGPでは、SDGsの目標にも掲げているとおり、「3Rの大切さを後世に伝える活動」として、子どもたちへの環境教育に力を入れています。廃車の取扱説明書をアップサイクルして、子どもたちが3Rの大切さを学べる「環境教育ノート」を製作しています。



NGP UPCYCLE PROJECT 第二弾

2つの廃棄物を掛け合わせて、消臭・除湿機能がある「廃車王炭エコクック」を製作

廃車の取扱説明書と梅の種を炭化させた「梅炭」を混ぜて、2つの廃棄物を掛け合わせてアップサイクルし、消臭・除湿機能のあるノベルティ「廃車王炭エコクック」を製作しています。



組合の資源回収実績

自動車には、鉄をはじめとする様々な素材が使用されています。NGPでは、使用済み自動車から再利用可能な部品を取り外した後、部品として再利用できない部分は、素材ごとに徹底的に分別して最大限のリサイクルを行い、資源循環によって持続可能な社会に貢献しています。



鉄の回収実績
自動車のフレーム、ドアやサスペンション等の部品から鉄資源を回収しています。

18万806トン

東京タワー：約45個分
(約4000トン)

10個分 × 4

※鉄スクラップに含まれる不純物を差し引いた重量です。

銅の回収実績
自動車の配線から銅資源を回収しています。

1,782トン

奈良の大仏：約7体分
(約250トン)

※銅スクラップに含まれる不純物を差し引いた重量です。

アルミの回収実績
アルミホイールなどのアルミ素材の部品からアルミ資源を回収しています。

5,004トン

新幹線のぞみ
16両編成(約700トン) × 7

プラスチックの回収実績
バンパーや内装材などの部品からプラスチックを回収しています。

807トン

学校などにある25mプール(幅:12メートル、深さ:1メートル)の水の重さ、約300トンに例えると
約2.7杯分

このプラスチック807トンのリサイクルすることによって、ゴミの削減に貢献しています。
※プラスチックは通常、回収しなければ焼却されゴミとなりますが、新たなプラスチック製品の資源としてリサイクルされた実績です。

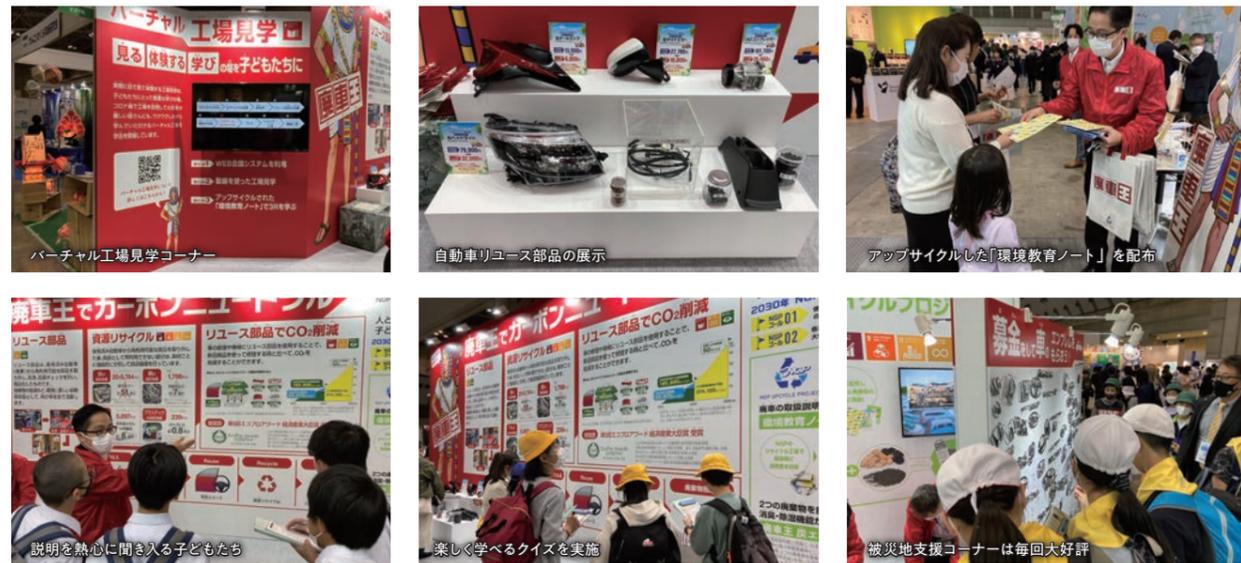
子どもたちへの取組み



日本最大級の環境展示会『エコプロ2022』に出展(2022年12月7日～9日)

実際の工場見学ながらの動画を体験できるバーチャル工場見学コーナー、自動車リサイクルの流れを楽しく学ぶことができるパネルやクイズなどを展示。廃車の取扱説明書をアップサイクルして制作した「環境教育ノート」と「廃車王 炭エコクック」を来場者に配布し、アップサイクルや資源の有効活用、廃棄物削減の重要性もPRしました。

今回たくさんの方々にご来場いただき、一般のカーユーザーや小中学生からも高い関心を得ることができました。恒例の被災地支援コーナーでは、募金にご協力いただいた方に自動車のエンブレムをプレゼント。集まった募金は「令和4年激甚災害義援金」として、日本赤十字社を通じて寄付させていただきます。



バーチャル工場見学会



コロナ禍でも安心安全の見学・体験学習を提供するため Web会議システムとアップサイクルした「環境教育ノート」を活用した「NGPバーチャル工場見学会」を2021年5月より開始。



小桜(こざくら) 小学校 (茨城県石岡市)

これまでのバーチャル工場見学会実施数

(日本全国/海外) **学校 24校**

児童・生徒 1,462名

企業 1社

過去に実施したバーチャル工場見学会はこちらから



中学生のSDGs企業訪問を受入れ



2023年5月に3校合計25名の中学生を受け入れました。動画や実際に廃車の部品の解体・分別体験を交えながら、自動車リサイクルの流れや徹底的な分別による資源リサイクルの大切さを伝えることができました。



西朝明(にしあさあげ) 中学校 (三重県四日市市)



東浦中学校 (愛知県多郡東浦町)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsの達成には、1団体の取組みだけでなく、取組みを拡大させていくことが不可欠なため、全国のNGP組合員1社1社にもSDGsの輪を広げています。

SDGs宣言会社一覧

(株)辻商会 (有)まるふく八田商会 (株)ピークル (株)ケーエー車輛 (有)オカダオートパーツ 鋼路オートリサイクル(株) (株)ポールド (株)ライズコーポレーション (株)ナプロアース (株)共伸商会	(株)茨城オートパーツセンター (株)拓殖商会 (有)しのぶやみどり工房 (株)3R (株)CRS 埼玉 (株)マルシ青木 (株)大橋商店 三協自動車(株) (株)杉之間 (株)アードカーパーツ	(株)金沢ヨコイ部品 (有)山一商店 (有)名古屋解体メカイバーツ (株)カグリーコマゼン KMI(株) (株)テラダパーツ エコパーツ岐阜(株) (有)佐竹自動車部品 アーク(株) (有)小諸パーツセンター	(有)サイトウパーツ (有)オートパーツまるも (有)川原商会 (株)アートパーツ長野 (有)ジーパーツ (株)ワープ (有)富士クラッチ工業所 (株)マークコーポレーション (株)吉村解体(吉村エコパーツ) (株)福山セコ	クレストパーツ(株)中村解体 (有)山陰UP販売 (株)佐伯商会 (株)桃太郎部品 (株)オートパーツ幸城 (有)東和 (株)エビス ウエイクパーツ(有)和気商店 (有)西川商会 (株)オートリサイクルナカシマ	(株)パーツライン (株)オートパーツ伊地知 (有)ユービー宮崎 (株)アール・トヨー (有)イノクチ (株)パーツランド東部 WARC西日本オートリサイクル(株) (有)オートリサイクルナカシマ
---	--	--	---	--	---

NGP 東海支部

全社がSDGs宣言、環境貢献書の提供を通じて保険代理店のSDGsへの取組みを支援

NGP東海支部に所属する組合員16社全社がSDGs宣言会社となり、これはNGPの全国9支部の中で初めてとなります。同支部では、保険代理店に向けたNGP事業の案内を開始し、使用済み自動車の引き取りにご協力いただいた代理店には、引き取った車両ごとに、部品をリサイクルしたことによるCO₂の削減量、再資源化した各種素材の重量を算出し、環境貢献書として提供しています。



(株)アール・トヨー

バスケットボールチームとの地域社会貢献

長崎県のバスケットボール B2 リーグのチーム「長崎ヴェルカ」と共同で、令和5年度をもって廃校となる長崎市立南小学校の全児童を長崎ヴェルカのホームゲームへ招待するチケットの贈呈式を行いました。同社は、廃車王 長崎店として長崎ヴェルカとオフィシャルパートナー契約を結んでおり、市内で廃校になる小学生たちにたくさんの思い出づくってあげたいという想いで、今回のイベントに参加しました。



NGP東海支部 / (株)CRS 埼玉

エアバッグのアップサイクル

アニエスベージュ(フランスのファッションブランド、アニエスベージュの日本法人)が発売した、使用済みエアバッグなどをアップサイクルしたバッグ類の材料として、NGP東海支部各社と(株)CRS埼玉が使用済みエアバッグを提供しています。



(株)ナプロアース

第13回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞で審査委員会特別賞を受賞

同賞は、「人」を幸せにする経営をしている企業を増やしたいという思いから設立された顕彰制度です。同社は、業界の垣根を越えた資源の有効活用や環境保護活動、地域に開かれたオープンセミナーや小中学生の会社見学、人材育成への注力などが評価され、同賞の受賞にいたしました。



(有)西川商会

エアバッグからアップサイクルしたファッションアイテムがG7広島サミットのIMCで展示される

同社が鳥取県出身のファッションデザイナー・川西遼平氏と協力し、使用済み自動車から取り外したエアバッグから製作したファッションアイテムが、G7広島サミットの国際メディアセンター(IMC)で展示されました。



組合員各社の工場見学会

KMI(株) / (有)オートリサイクルナカシマ福岡 JARCのプログラムに協力して工場見学会を開催

KMI(株)は2023年6月14日、自動車リサイクル促進センター(JARC)が主催するSDGsプログラムに協力し、立命館大学経済学部の学生を対象とした工場見学会を開催しました。また、(有)オートリサイクルナカシマ福岡は2023年6月24日、同プログラムに協力し、西南大学経済学部の学生を対象とした工場見学会を開催しました。



(株)共伸商会 中学生の工場見学会を受入れ

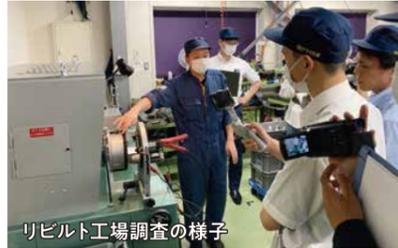
2023年5月20日に新潟市立木戸中学校から、7月10日に新潟明訓中学校から、それぞれ工場見学会を受け入れました。



NGP 産学共同研究

2013年5月より、NGP・富山県立大学・明治大学と進めている「自動車リサイクル部品産学共同研究会」は、2016年にリユース部品50部品、2017年にはリユース部品40部品のCO₂削減効果についての追加調査を実施し、研究成果としてNGPの売れ筋90部品「91.4%」のCO₂削減数値を算出しました。

2022年9月～2023年8月は、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、WEBでの会議を11回と工場調査を1回実施しました。



2023年度は、産学共同研究と研究成果を活用した取組みが評価され、大臣表彰1つを含む4つの表彰を受賞しました。

「第5回エコプロアワード」にて「経済産業大臣賞」を受賞

一般社団法人サステナブル経営推進機構が主催する「第5回エコプロアワード」において、「自動車リユース部品でカーボンニュートラルに貢献～CO₂削減効果の定量化と研究成果を活用した普及・啓発」のテーマで「経済産業大臣賞」を受賞しました。産学共同研究において、自動車部品の網羅的なLCAを実施し、リユース部品の環境貢献度合いを数値化し、伝える取組みをしている点、結果の公表や普及啓発を継続して実施している点などが評価されたものです。

2022年12月8日に表彰式が行われました。



「2022年度持続可能な社会づくり活動表彰」にて「資源循環活動賞」を受賞

公益社団法人環境生活文化機構が主催する「2022年度持続可能な社会づくり活動表彰」において「資源循環活動賞」を受賞し、2022年11月28日に表彰式が行われました。



「第2回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」にて「グッドパートナー事業」に選定

一般社団法人日本自動車会議所が主催する「第2回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」にて「グッドパートナー事業」に選定されました。



「脱炭素チャレンジカップ2023」にて「奨励賞」を受賞

地球温暖化防止全国ネットが主催する「脱炭素チャレンジカップ2023」にて「奨励賞」を受賞しました。



カーボンニュートラル・SDGsの取組み支援

NGPでは、自動車リサイクルをする中で得られる環境貢献度を利用して、損害保険会社様、自動車リース会社様、自動車販売業者様、自動車整備工場様等の自動車関連事業者様がカーボンニュートラル・SDGsに取組むことが可能となるサービスを開始しました。



NGPへ使用済み自動車の提供で環境に貢献

証明書を発行

自動車リサイクル環境貢献書

(株)●●●オートサービス 様

貴社はNGPグループへの車両提供により、リユース部品の生産に伴うCO₂削減と資源の有効活用に下記のとおり貢献いたしました。

対象期間: yyyymmdd ~ yyyymmdd

- 対象車両台数: 5台
- リユース部品生産に伴うCO₂削減貢献(※1): リユース部品生産点数: 10点, CO₂削減量(※2)(※3): 312kg
- 資源の有効活用貢献(※4): 鉄: 12,345kg, 銅: 500kg, アルミ: 100kg

2023年●●●日

NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合 株式会社 NGP

提供した台数のCO₂削減見込値, 資源の有効活用

リユース部品の積極的な活用で環境に貢献

証明書を発行

自動車リサイクル部品環境貢献書

(株)●●●オートサービス 様

貴社は自動車リユース部品利用に伴うCO₂削減に下記のとおり貢献いたしました。

対象期間: yyyymmdd ~ yyyymmdd

- リユース部品利用に伴うCO₂削減貢献: リユース部品利用点数: 10点, CO₂削減量(※1)(※2): 312kg

2023年●●●日

NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合 株式会社 NGP

CO₂削減値

SDGsへの取組みのきっかけに具体的な数値で環境貢献度をPR

13 気候変動に具体的な対策を

NGPグループ以外から購入したリユース部品でも算出できます。(別途情報提供の必要あり)

使用済み自動車の提供でアップサイクルに参加

取扱説明書回収・保管 → 環境に配慮した製紙工場 → 再生紙(古紙100%) → 再生紙を利用した製作物

チラシ・紙袋・封筒パンフレットなど身近なもので環境貢献をPR

この活動をSDGsに絡めると新たな活動、目標設定が可能になります。

- 8 働きがいも 生産性も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11 持続可能な都市づくり
- 12 つながり共有

「NGP リユース部品を使って CO₂ 削減キャンペーン」開催 ～カーボンニュートラルで持続可能な社会に貢献!～

カーボンニュートラル・SDGsの取組み支援サービスの開始に合わせて、取組みを広く浸透させることを目的として、2022年10月1日～11月30日まで実施。

NGPのリユース部品を修理に活用いただいている自動車整備・钣金事業者様を対象として、CO₂削減量の上位500社様全社に、「カーボンニュートラル賞」として「環境貢献書」と香川県豊島の名産「豊島オリブセット」を贈呈しました。

本キャンペーンは応募は不要とし、期間中に NGPグループより購入いただいた自動車リユース部品（対象90部品 /左右ある部品を合わせると115部品）のデータを、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合が集計し、期間中CO₂削減量の多い上位500社様を決定。

上位500社様には、NGP組員がキャンペーン終了後に賞品を直接お届けしました。

集計の結果、上位500社様のうち431社様が自動車整備・钣金事業者様以外であったため、表彰対象としては69社様となりました。



■上位500社様への「カーボンニュートラル賞」の贈呈の様子



「カーボンニュートラル賞」を受賞された各社様には、大変喜んでいただくことができました。

組員向け研修会の開催

第13回自動車技術基礎研修会

期間 5月29～31日 開催場所 (株) あいおいニッセイ同和自動車研究所・東富士センター(静岡県裾野市)

自動車の構造やパネル钣金及び補修塗装などの修理技法を学び、実習ではエンジンなどの部品を分解しながら、故障時の不具合現象を理解を深めました。



第22回ハイブリッド・次世代技術セミナー

期間 6月19・20日 開催場所 (株) あいおいニッセイ同和自動車研究所・東富士センター(静岡県裾野市)

ハイブリッドシステムの種類や構造を学び、スキャンツールを用いたバッテリーの点検やバッテリー脱着などの実習を通じ、電動車に対する知識を深めました。



第17回初級生産管理者・フロントマン研修会

期間 7月4日～6日 開催場所 Bum B東京スポーツ文化館(東京都江東区)

業務における心構えや NGPシステムの活用方法などについて学び、2日目は小林信夫理事長から NGPの理念やこれまでの活動に関する講話を受けました。



第2回スキャンツールセミナー

期間 7月18日・19日 開催場所 (株) あいおいニッセイ同和自動車研究所・東富士センター(静岡県裾野市)

スキャンツールの基本機能や故障診断の進め方などについて学び、スキャンツールを使う必要性について理解しました。



被災地復興支援活動

NGPは地震や豪雨による洪水や土砂などで被害を受けた車両の引き上げ、処理活動などを通して被災地支援を行っています。東日本大震災をはじめ、様々な震災において車両の引き上げ作業はその後の復興の手助けとなります。NGPでは、今後も積極的に被災地支援活動を行ってまいります。

令和4年台風15号(静岡県)被災車両復興支援

令和4年9月28日に発生し、静岡県内各地に甚大な被害をもたらした台風15号の水害対応で、令和4年10月3日に対策本部を設置。被災車両の引取拠点として、焼津市と浜松市の2カ所に約6000坪のヤードを設置し、被災車両の引上げ活動を開始。南関東・北関東・東海・中四国地区の組員会社「39社」が活動しました。今回設置したヤードは被災したエリアに近く、連絡から引上げまで素早く対応することができ、被災地の復興支援を後押しすることができました。



令和5年台風2号(愛知県)被災車両復興支援

令和5年6月1日に発生し、日本各地に甚大な被害をもたらした台風2号の水害対応で、6月5日に水害対策本部を設置。特に被害の大きかった愛知県豊川市にヤードを設置し、被災車両の引上げ活動を開始。東海地区の組員会社「16社」が活動しました。今回設置したヤードは被災したエリアに近く、連絡から引上げまで素早く対応することができ、被災地の復興支援を後押しすることができました。



令和5年梅雨前線豪雨等被災車両復興支援

福岡県

令和5年7月10日に発生した線状降水帯による、九州地方北部での記録的な大雨の水害対応で、福岡県うきは市に対策本部を設置し、7月18日より被災車両の引上げ活動を開始しました。



秋田県

7月14日から16日にかけての、東北地方での梅雨前線停滞による秋田県内の大雨の水害対応で、秋田市近郊に対策本部を設置し、7月24日より被災車両の引上げ活動を開始しました。



NGPパーツ王、「ヤフオク!ベストアワード 2022」で「急上昇ストア賞」を受賞



NGPが一般ユーザーに向けて高品質な自動車リユース部品の販売を展開する「NGPパーツ王」は、2022年6月より、ヤフー株式会社が運営する日本最大級のインターネットオークションサービス「ヤフオク!」と、オンラインショッピングモール「Yahoo!ショッピング」へ出店し、約100万点に上る NGPの自動車リユース部品を公開しています。

「ヤフオク!」が2023年3月9日に開催した「ヤフオク!ベストアワード2022」にて、豊富な出品点数と販売が評価され、「NGPパーツ王ヤフオク!店」として特別賞の「急上昇ストア賞」を受賞しました。今後ともお客様にご満足いただける商品を出品してまいります。



交通遺児育英会の活動支援



保護者の交通事故が原因で経済的に修学が困難となる子どもたちが一人でも減ることを願って、NGPは1991年より30年間、売上の一部を交通遺児育英会の「あしながおじさん奨学金制度」に寄付しています。



ベルマーク運動



●2012年2月ベルマーク協賛加盟

2011年3月11日に発生した「東日本大震災」をきっかけに、全国の子どものためにベルマーク支援活動を開始



ISO 一括合同認証取得

～NGP「4つ」のISO 一括合同認証取得～



- 2016年9月：「ISO9001/14001/27001」を業界初となる一括合同認証取得
- 2018年11月：「ISO45001」を追加取得

組合員会社132社のうち103社[※]が取得。
 全社取得に向け鋭意邁進中!

※2023年9月時点



NGPはこれら ISOマネジメントシステムに裏付けられた組合活動・企業経営により、自動車リサイクル事業を通して地域社会とお客様、さらにはすべてのステークホルダーの皆様のご期待にお応えする活動を推進していきます。

「NGP 年末大感謝キャンペーン」「NGP 春の大感謝キャンペーン」開催



2022年9月1日～11月30日までの3か月間「NGP 年末大感謝キャンペーン」を開催。

NGPリユース部品に貼付しているギャランティシールを3枚一口にして応募いただきました。ギャランティシールにはベルマークを付与しており、応募前にベルマークを最寄りの小学校などの参加団体へ寄贈をするよう促しました。

応募総数は5,678通(24,348口)となりました。



また、2023年4月1日～6月30日までの3か月間には「NGP 春の大感謝キャンペーン」を開催。

今回より自動車関連事業者様がカーボンニュートラル・SDGsに取り組むきっかけとしていただくべく、「カーボンニュートラル賞」を設定。「カーボンニュートラル賞」に当選されたお客様には、NGPリユース部品利用によるCO₂削減値を見える化した「環境貢献書」を発行しました。

年末を上回る5,869通(27,292口)の応募をいただきました。



NGPリサイクル部品に貼付される「NGP ガランティシール」にベルマーク5点を付与



「廃車といえば廃車王」、業界 No.1 のサービス提供のため研修会実施



2023年5月16日、「廃車王」のサービス品質を今まで以上に向上し、業界ナンバー1のサービスを提供する土台を確立することを目的に、初となる「廃車王サービス品質向上研修会」を WEB会議システムを利用して実施しました。

廃車王の加盟店の責任者、全社が必須での参加となり、全国

TVCMや WEBでの施策など廃車王のプロモーションを強める中で、「安心のサービス品質の提供」を全加盟店に改めて共有しました。お客様から廃車王に頼んでよかったと思われるように、サービス品質向上に向けた取組みを継続してまいります。



1985年	4月	九州3社により「西日本グッドパーツグループ」としてスタート
1987年	3月	本部設立、事務所を福岡に開設
	4月	「日本グッドパーツ (NGP) グループ」に名称変更
1989年	6月	NGP オンラインネットワーク完成
1990年	11月	株式会社エヌ・ジー・ピーを設立(現:株式会社NGP)
1991年	1月	「NGP ニュース」を創刊
1995年	11月	「日本自動車リサイクル部品販売団体協議会」発足、同協議会加盟
1998年	10月	「リサイクル部品協力店」14,000店達成
2000年	5月	大東京火災海上保険(株)(現:あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)との間でリサイクル部品供給、及び全損車両回収業務提携
2001年	10月	トヨタ部品共販株式会社へリサイクル部品供給開始
2002年	2月	第1回国際オートアフターマーケット EXPO2002 出展
2003年	9月	NGPグループ本部を東京都港区に移転
2004年	10月	「NGP日本自動車リサイクル事業協同組合」設立(経済産業省所管)
2005年	5月	日本自動車車体整備協同組合連合会に賛助会員として入会
	6月	NECソフトとの協同開発による新NGPシステム完成
	9月	NGPシステムとJAPRAシステム相互利用に合意
	11月	廃車買取サイト「くるマック」全国展開(現:廃車王)
	12月	日本自動車車体整備協同組合連合会とNGPダイレクト試験運用開始
2006年	6月	マツダ部品販売株式会社(現:マツダ・パーツ)へリサイクル部品供給開始
	8月	あいおいエコパートナーへのNGPダイレクトシステム展開 BS サミット会員へのNGPダイレクトシステム展開
	10月	ロータス会員へのNGPダイレクトシステム展開
	12月	エコプロダクツ2006に出展(以降、毎年出展)
2007年	1月	JA 共済連と全損車両回収の業務提携
	2月	NPO 法人世界(旧:広島未来グループ)入会
	5月	早稲田大学・JAPRA・NGP共同でCO ₂ 削減効果のデータベース構築
	7月	オートバックスセブンと車輻引取りの業務提携
	9月	ISO9001 認証取得(NGP組合本部)
2008年	4月	株式会社損害保険ジャパンと全損車両回収の業務提携
	9月	海外向けNGP個社ダイレクトシステム運用開始
2009年	3月	リターンナブル梱包材運用開始
	10月	「コンピュータ画像検索システム」テスト運用開始
2010年	3月	「クレーム情報検索の電子化」で情報収集
	9月	再生資源回収利用協会視察団(中国)来日
	10月	韓国リビルト工業会と交流覚書の調印 ユーザー向けに優良な整備事業者を紹介するWebサイト「NGPエコひろば」開設
2011年	4月	東日本大震災被害車両の回収活動実施

2011年	7月	部品ごとの「CO ₂ 削減効果の見える化」を開始
2012年	4月	リユース部品にベルマークをつけてベルマーク運動に協賛
	10月	業界初のテレビCM放映開始
2013年	1月	NGP 青年部発足 全国自動車整備協業協同組合協議会とのリサイクル部品流通に関する提携合意調印
	4月	「マフレ・ワランティ・ジャパン」と業務提携
	5月	「自動車リサイクル部品産学共同研究会」を発足
	12月	廃車買取サイト「くるマック」を「廃車王」にリニューアル
2014年	3月	「東日本自動車解体処理協同組合」と業務提携
	7月	「自動車リサイクル関連総合サービスサイト」を開設
	10月	かんたん钣金見積システム「ぱっと!くん」をあいおいニッセイ同和損保と共同開発
2015年	7月	「NGPパーツ王」としてAmazonでリユース部品販売開始
	9月	関東・東北豪雨被災車両の回収復興支援開始 ISO9001・14001合同認証取得(組合本部/組合員70社)
2016年	4月	CO ₂ 削減効果値の理論的根拠の発表
	9月	ISO27001合同認証追加取得(組合本部/組合員101社)
	10月	NGP 創立30周年記念式典を開催
2017年	3月	ホームページ全面リニューアル
	8月	「NGP産学共同研究会」主要売れ筋部品「91.4%」のCO ₂ 削減効果値を算出
	10月	「ブロードリーフ」と業務提携
2018年	4月	「廃車王」業界初の全国テレビCM放映
	7月	「平成30年7月豪雨」被災車両の回収復興支援実施
	11月	ISO45001合同認証追加取得(組合本部/組合員101社)
2019年	7月	SDGs宣言及び取組み推進活動開始
	9月	九州北部豪雨による被災車輻の回収復興支援実施
	10月	台風15・19号・豪雨による被災車輻の回収復興支援実施(全国8ヶ所)
2020年	1月	NGPシステム大幅改良(一般向け形状マスター化)
	3月	外務省「JAPAN SDGs Action Platform」取組み事例にSDGs活動掲載
	7月	九州豪雨水害による被災車輻の回収復興支援実施
2021年	2月	「NGPアップサイクルプロジェクト」始動
	5月	「NGPバーチャル工場見学会」開始
	6月	「ビィ・フォアード社」と業務提携
2022年	5月	NGP パーツ王「ヤフオク!店」及び「Yahoo!ショッピング店」をオープン
	9月	業界初の取組みとなる自動車リサイクルを通じたカーボンニュートラル・SDGsの取組み支援サービスを開始
2023年	4月	日本国内最大級の自動車リサイクル部品の在庫共有ネットワーク「オールリサイクルパーツネットワーク」が誕生
	7月	NGPグループ本部を東京都港区高輪から同区港南に移転

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合

- 所在地：
 - [本部]
 - 〒108-0075 東京都港区港南 2-12-32 サウスポート品川 4F
 - TEL：03-6705-1208
 - FAX：03-6705-1209
 - URL：https://www.ngp.gr.jp/
- 創立：1985年4月
- 代表者：理事長 小林 信夫
- 組合員数：132 組合員、160 拠点
- 事業内容：
 - 健全な自動車リサイクル事業の構築を目指し、全国組合員企業の経営意識向上、意識改革までの「企業の社会責任」を遂行し、補修部品の消費者へ啓蒙と販売
- 受賞歴
 - 2016年 10月「中小企業団体全国大会」にて「優良組合賞」
 - 2021年 2月 「第17回LCA日本フォーラム賞」にて「経済産業省産業技術環境局長賞」
 - 「第24回中小企業組織活動懸賞レポート」にて「本賞」
 - 12月 「第22回グリーン購入大賞」にて「大賞・経済産業大臣賞」
 - 「令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰」
 - 2022年 11月 「2022年度持続可能な社会づくり活動表彰」にて「資源循環活動賞」
 - 12月 「第5回エコプロアワード」にて「経済産業大臣賞」
 - 2023年 1月 「第2回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」にて「グッドパートナー事業」
 - 2月 「脱炭素チャレンジカップ2023」にて「奨励賞」
 - 3月 NGPパーツ王、「ヤフオク!ベストアワード2022」にて「急上昇ストア賞」



株式会社 NGP

- 株式会社 NGP は、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合の関連会社です。協同組合と一元一体体制のもと、NGP グループ支援を中心に事業展開をしております。
- 所在地：
 - 〒108-0075 東京都港区港南 2-12-32 サウスポート品川 4F
 - TEL：03-6705-1212
 - FAX：03-6705-1201
 - URL：https://www.ngp.co.jp/
- 設立：1990年11月
- 代表者：代表取締役 佐藤 幸雄
- 事業内容：
 - NGPシステムの運営管理
 - 損害保険会社及びリース会社使用済み自動車引取窓口業務
 - ISO14001 コンサルティング
 - その他サポート
- 許認可：
 - 古物商許可：東京都公安委員会第 301090207822 号
 - 引取業者登録番号：20131004378



NGP 三大信条

- 「お客様第一！」
- 「よりよい商品を！より正確に！より早く！」
- 「補修部品業界のリーダーたること！」

SDGsの達成には、1団体の取組みだけでなく、様々な団体と連携しながら取組みを拡大させていくことが不可欠なため、国が設置しているプラットフォームに参加しています。

